

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 5 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36(14)	利用者の尊厳を大切に誠意を持ち接することを心掛けて、言葉遣いにも職員同士注意をしかける環境は構築されているが、年間研修計画にはないので研修計画に取り組む。	職員側の都合での声掛けではなく、利用者の立場に立ち、その時々状況を把握し丁寧に言葉かけを行う。 共同生活を行う中でもプライバシーの確保や個人情報についての重要性を理解する。	現場で注意をし合える環境にはあり、毎週開催される研修でも話し合いはされているが、年間計画の中には取り組めていなかった接遇やプライバシーに関する研修を計画に取り組み行うことで職員全体に個人情報保護の重要性の理解を深める。	6ヶ月
2	11(7)	職員の離職や新雇用が続き職員の定着を図る為働きやすい職場環境を創る。 職員の定着により利用者満足度の向上やサービスの質を高める様努める。	利用者様に寄り添い共に楽しみながら分かち合える時間を設ける。 利用者様の介助時に職員にも無理のない介護技術を学ぶ。	週1回のミーティングや援助中に個別対応のコミュニケーションカや技術指導を積極的に受ける。	24ヶ月
3			利用者様の思い(希望や心配なこと)を理解できるよう寄り添うケアを行う。 職員間の情報共有・連携を深める。	チームケアとして連携を図る為、記録を用いり共有する。変化する利用者様の思いに気が付けるように話を傾聴し関わりを持てるよう工夫する。	12ヶ月
4	11(15)	栄養面に拘り食事の摂取量が気になり完食をしていただくよう促すことが見られる。	食事を摂っていただくのではなく喫食していただく。	摂取量にこだわる点がよくみられる為、完食することに介助者の拘りが強くなる。 その時々により気分や食事量に変化があることを考え楽しく食事が摂れる雰囲気や環境を創る。音楽を流したり、会話を楽しみながら食事ができる。	6ヶ月
5		口腔ケアの方法で歯磨き粉を使用するとスーツとした気分になり短時間で終了されている。	丁寧に口腔ケアを行うことで病気の予防や安全に美味しく食事が食べられる。	歯科医の指導を受け 歯磨き粉は不使用、水で歯根から丁寧にブラッシング行う。 介助者の見守り促しで行う。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。